

情報連絡員報告総括表（令和3年6月分）

三重県中小企業団体中央会  
 連絡員総数 40名  
 回答数 40名（100%）

業界の景気動向（前年同月比）

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>（臨時・パートを含む）</small>			業界景況							
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化					
製 造 業	食料品		2	2	1	3		1	3			4			1	3		3	1		4			3	1		1	3				
	繊維工業		3			2	1		3			3			3			2	1		3			3			2	1				
	木材・木製品	1					1	1		1			1				1		1				1		1							
	紙・紙加工品	1		1		2			2		1	1		1	1		1	1		1		1		2		1	1					
	印刷		1			1			1			1			1			1			1			1			1					
	化学・ゴム																															
	窯業・土石製品	1	1	1	1	2			3			3			2	1		3			3			3			2	1				
	鉄鋼・金属	1				1			1			1			1			1		1			1			1						
	一般機器	1	1	1	1	1	1		3			3		1	1	1	1	2		1	1	1	1	2		2		1				
	電気機器			1			1			1					1				1			1		1				1				
	輸送機器	1					1		1			1			1				1			1			1							
その他																																
小計	6	8	6	3	12	5	2	17	1	2	18		3	11	6	3	14	3	5	12	3	3	16	1	6	7	7					
非 製 造 業	卸売業		2			2		2			2			1	1		2		X				2			1	1					
	小売業		1	5	1	5		2	4		4	2		2	4		2	4							6			3	3			
	商店街			1		1			1		1				1			1								1				1		
	サービス業		3	2	X				5		5		3	2	1	3	1									4	1		3	2		
	建設業		3	1					1	2	1		3	1		3	1					3	1					4			3	1
	運輸業		1						1			1		1			1						1					1			1	
	その他	1										1		1			1						1					1			1	
小計	1	10	9	1	8		3	16	1		17	3		11	9	1	12	7				19	1	1	11	8						
合計	7	18	15	4	20	5	5	33	2	2	35	3	3	22	15	4	26	10	5	12	3	3	35	2	7	18	15					

## 最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(令和2年6月～令和3年6月)

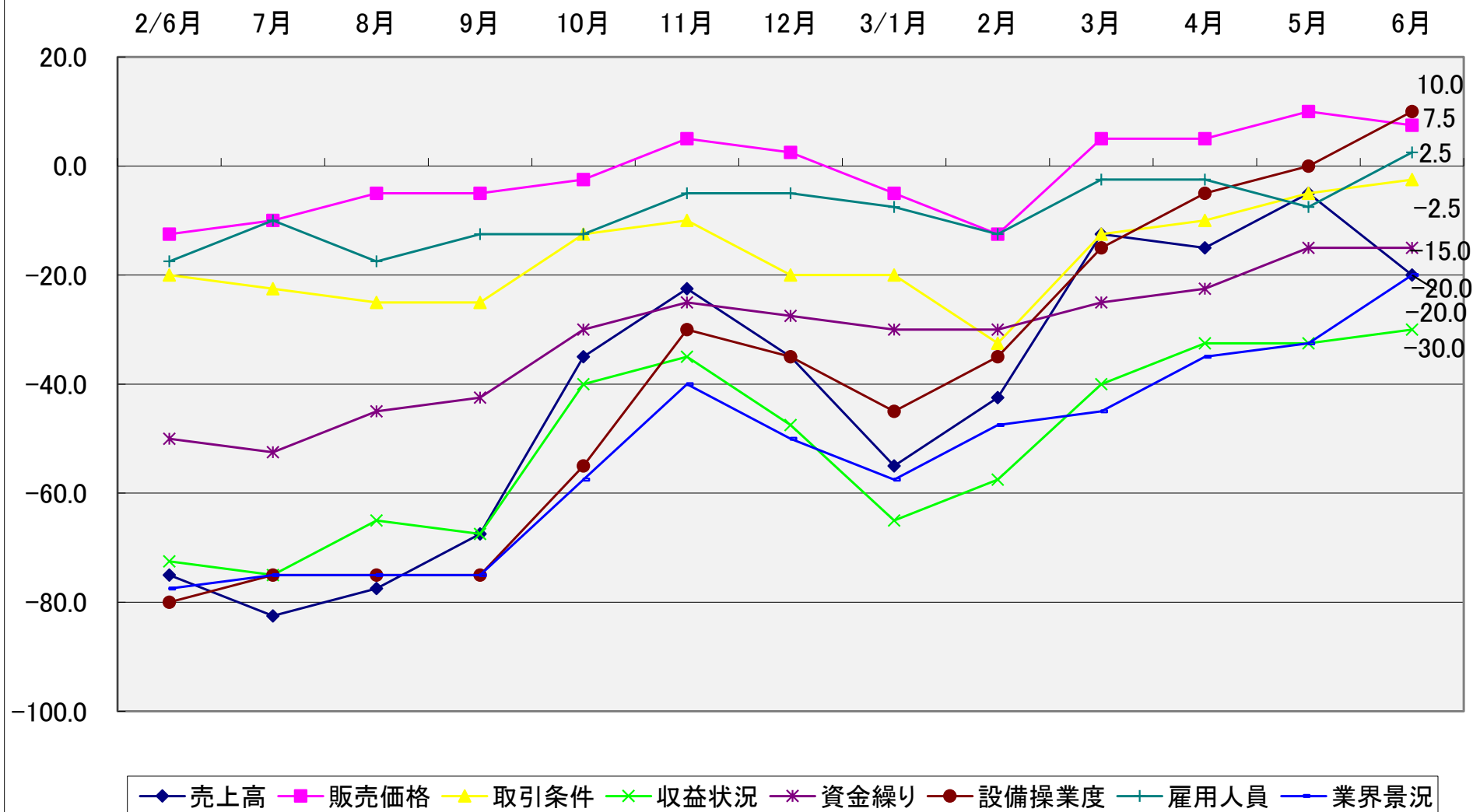
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	2/6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3/1月	2月	3月	4月	5月	6月	増減
売上高	-75.0	-82.5	-77.5	-67.5	-35.0	-22.5	-35.0	-55.0	-42.5	-12.5	-15.0	-5.0	-20.0	-15.0
販売価格	-12.5	-10.0	-5.0	-5.0	-2.5	5.0	2.5	-5.0	-12.5	5.0	5.0	10.0	7.5	-2.5
取引条件	-20.0	-22.5	-25.0	-25.0	-12.5	-10.0	-20.0	-20.0	-32.5	-12.5	-10.0	-5.0	-2.5	2.5
収益状況	-72.5	-75.0	-65.0	-67.5	-40.0	-35.0	-47.5	-65.0	-57.5	-40.0	-32.5	-32.5	-30.0	2.5
資金繰り	-50.0	-52.5	-45.0	-42.5	-30.0	-25.0	-27.5	-30.0	-30.0	-25.0	-22.5	-15.0	-15.0	0.0
設備操業度	-80.0	-75.0	-75.0	-75.0	-55.0	-30.0	-35.0	-45.0	-35.0	-15.0	-5.0	0.0	10.0	10.0
雇用人員	-17.5	-10.0	-17.5	-12.5	-12.5	-5.0	-5.0	-7.5	-12.5	-2.5	-2.5	-7.5	2.5	10.0
業界景況	-77.5	-75.0	-75.0	-75.0	-57.5	-40.0	-50.0	-57.5	-47.5	-45.0	-35.0	-32.5	-20.0	12.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする  
企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### 最近の主要指標の前年同月比DIの推移



## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	漬物	原料用野菜は順調な入荷となっているが、生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足は続いている。そのため伝統的な漬物においても原料不足のため、代替原料による新たな商品開発の試みが行われている。また販売状況においても、コロナウイルスに関わる外出自粛の影響により、駅、土産物店等でお土産物の漬物の販売及び外食産業での需要が更に減少している。今年度は中部漬物協会の通常総会が6月14日に開催され、書面決議を行った。
	醤油味噌	廃業があり組合員数は34名となった。組合グループ内会議以外はWeb会議が多い。多気町の大型商業施設VISONに伊勢醤油本舗が7月20日に開店する。一組合員は職域でのコロナワクチン接種の申込を行い、実施を予定をしている。
	豆腐	コロナ不況に加えて、燃料、原材料(大豆)が値上がりしてきており、収益は悪化している。商品の値上げを考える時期に来ている。
	製麺	昨年に比べて良くなってきているが、まだまだコロナの影響がある。最近では自販機の餃子販売等、新しい取り組みもあり、時代にマッチした取り組みを考えなければならない。組合活動もあまり出来ていない状況である。HACCPも始まり、組合員と取り組んでいく。
繊維工業	衣料縫製	アパレル関係の商品だけでは大変厳しい状況である。
木材・木製品	木材	ウッドショックにより依然として外材製品の入荷減少は続き、代替製品を中心として国産材製品の需要は旺盛で原木、製品共に高値で推移している。このような状況が続く事で木造住宅離れが危惧されている。
紙・紙加工品	紙器段ボール	需要が大きく落ち込んだ昨年と対比すれば生産量は増加した。しかしコロナ禍前と比べるとまだマイナスの企業が多い。日本包装技術協会によると、段ボール・紙・板紙、プラスチック製品、金属製品、ガラス製品等の包装・容器総出荷額(令和2年1月～12月)は5兆5,618億円となり、前年対比で96.7%であった。段ボール箱の出荷額は、1兆4,364億円で、昨年対比3.0%と伸びた。生産量は141億7,841万平米で前年対比で97.2%となった。出荷額が増加したのは平成29年、30年の段ボール原紙値上げに伴う、段ボール製品の値上げが寄与していると思われる。(日本包装技術協会、全国段ボール工業組合連合会のホームページを参照)
	古紙	6月期の古紙仕入量は：段ボール・約100±5%、新聞、チラシ・約100±15%、雑誌・雑がみ、その他を合わせて約100±8%の模様である。前年のコロナ禍で集団回収等を中止していたお客様が再開したところがあり、増えたように思える。段ボール古紙もスーパー等の食品や宅配関係の発生が増えている模様である。板紙の製紙会社の生産は、国内販売もアジア需要の原紙輸出もある様で、製紙原料古紙の発注はコロナ禍前に戻った様である。古紙の輸出価格も国内価格より上値の商品もある様である。古紙無料回収所のゴミの置き去りは常時見られ、古紙の持ち去り行為も無くならない。古紙の持ち去り行為は古紙業界で法制化のお願いをしている。
窯業・土石製品	伊賀焼	新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるためか、徐々にではあるが、入館者数、陶芸教室の人数が戻りつつある。しかしながら、各種イベント、催事等については、まだまだ従来の状況にはなく、窯元等の売上についても厳しい状況が続いている。
鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産状況は5月と同様で増加傾向が続いている。自動車関連部品も一部の地域で生産調整をしているが、当地域では影響を受けず若干の増加である。電気製品部品も6月前半から増加に転じこの傾向は続きそうである。半導体関連は品薄の状況が続き、加工を含め増産依頼が夏場過ぎまで続く模様である。
一般機器	四日市	コロナ禍が続いて、人流も制限されて、企業の活動も停滞している。当組合員も例外ではないが、各々の特性を生かして努力している。
	津市	昨年の受注減の影響が大きかったため、昨年同月で比べると増加になるが、昨年以外の年と比べた場合不変となる。受注はあるものの、得意先での在庫が増えつつあるため、来月以降の受注がどうなるか不明である。加えて材料の入手が少しずつ遅れ気味になってきており、各社とも材料不足による売上減の影響がこれから現れるかもしれない。
	伊勢	新型コロナウイルス感染拡大に加え、原油等の原材料価格も上がってきている。厳しい状況は続いており、ワクチン接種の進展はしているが、まだ良くはなっていない。
電気機器	鳥羽	受発注の激減(約40%減)が続いている状況である。雇用調整助成金等を使い、雇用を守っているが経営が厳しい。

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非製造業	輸送機器	鈴鹿 当組合の通常総会を開催したが、コロナ禍や半導体不足による生産の減少に加え、自動車のモデルチェンジの先送りによる試作品の需要減少や設備投資の鈍化により、量産部品・スポット部品・設備開発のいずれの組合員もかなり厳しい決算となったようである。
	青果	野菜前半:雨の影響で全体的に高値が続いた価格も落ち着いてきた。きゅうり、ほうれん草は値下がりしている。キャベツの入荷も安定している。昨秋から高値であったじゃがいもも順調に入荷し値下がりしている。梅は和歌山の南高梅の入荷がピークを迎え、価格も昨年並みである。野菜後半:梅雨が続くものの入荷は順調である。レタス、白菜、きゅうりも安い。北海道産のピーマン、ブロッコリーは例年より早く出始めて、お手頃になっている。長野産のズッキーニ、愛知県産のとうもろこしも安くなっている。果物前半:全体的に入荷量が少なく、特に山形産のさくらんぼは4月の霜の影響で入荷が少ない。島根産デラウエアの出荷がピークで甘くて美味しい。すいかは愛知県産の入荷が増え、安くなっている。果物後半:島根産デラウエアは出荷の峠を越えた。愛知県産のすいかは、やや減ってきた。山形産のさくらんぼは出荷の最盛期であるが、例年に比べて少ない。マンゴーは沖縄から出荷が始まり、お手頃価格で届きそうである。
	自転車	例年この時期は小中学校の自転車安全点検の申し込みが多くあったが、コロナの影響により、ほとんどの学校が中止となった。それに伴い、梅雨の季節とまん延防止等重点措置の延長が重なり、各ショップへの来店客も全くない。一部中高生の保険付き点検がある程度である。シマノ製品において、多少の部品が入荷しやすくなりつつも専門スポーツ車の部品並びにカードスポーツ、クロスバイクはヨーロッパへの発注により国内向けには注文後6ヶ月~1年先の入荷しか見込めないとの返事で、不安な状況が続いている。
	小売業	6月は長引くコロナ禍の影響で販売は前月に続き前年に対して大きくダウンする事になった。昨年は特別定額給付金の効果もあり、エアコン・冷蔵庫等の買替が大きく需要を牽引し販売に貢献したが、6月は逆に特需のマイナス要素が顕著になった。特に梅雨入り早く、不安定な気候の中で夏物商品中心の需要が大きく落ち込み厳しかった。テレワークや巣ごもりと新たな環境にも敏感に対応してきたが、半耐久品である為販売を引っ張った好調商品の販売苦戦が目立つ。その他洗濯機・テレビ・空清関連商品も不調であった。コロナ禍の中で訪問活動を控えることもあり、催事のあり方も変わってきている。催事に手間と金をかける店とそうでない店の販売格差が大きくなり2極化が進んでいる。在庫は実需とのタイムラグがあるので増えつつある。心配は長引くコロナ禍の中、需要の低迷が厳しさを増し、今後の見通しは非常に厳しい状況が予想されることである。さらに店主の高齢化による自主廃業が大きな課題で、業界の中でも地域電器専門店はこの課題への対応・解決が大きな問題となっている。まさに事業継承の課題が顕在化しつつある。高齢店主の販売ダウンによる自主廃業がコロナ禍の中で加速されつつある。
	石油	レギュラーガソリンの小売価格が原油の上昇を受け、上がり続けている。全国平均で155円程度となり、値上がりは3週間連続で、2年7か月ぶりの高い水準が続いている。これは、アメリカやヨーロッパで新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、景気の持ち直しへの期待感が高まっていることから、原油価格の上昇が続いているのが要因である。今後の見通しについては、石油情報センターは、「景気回復への期待感から原油価格は引き続き上昇していて、今後もしばらくは続くのではないかと」している。当業界としては、価格上昇に伴う消費者の買い控えが気になることである。
	スポーツ	オリンピックが始まる月になったが、業界の間でも全く盛り上がっていない。国民体育大会の方は通常の大会が開かれるという前提で準備が進んでいる。ただ、コロナ禍の中での大会になるだろうという事で、当組合員と各メーカーの選手サービスコーナーの出店にブレーキがかかっている。勝手ながら業界内ではサービスコーナー売上の減少はその利益が組合上部団体の日本スポーツ用品協同組合連合会運動(活動)の源資であるので困っている。
サービス業	商店街	熊野市 新型コロナウイルスの影響は徐々に減少傾向にあるかと思うが、観光客の入込客数はあいかわらず厳しい状況の為、観光産業などはまだまだ厳しい状況にある。今後は感染収束後の何かしらの経済対策を行うことが必要かと感じる。
	旅館	まん延防止等重点措置等の発出により、5月後半より閑散とした日が続いていた。週末は少々出たが、平日は客足は遠く、旅館、休業していた施設が多かった(昨年比30~40%減、一昨年比80%減)。今後は、ワクチンの一般接種の加速と夏休みへ向け、昨年並程度の売上を期待をしているものの、楽観はできない。今年の6月はコロナ禍のうちでも最悪であったようである。
	測量	仕事柄、新型コロナウイルス感染の可能性は少なく、作業には影響なし。官庁からの発注量は、例年並みであり、ほぼ組合員の各社は受注がある。
	警備	当業種は天候に左右される事が多く、今年度は梅雨入りが早く、雨天が多かった事と新型コロナウイルスの影響により、イベント等の中止が多いため、売上は減少している。

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
建設業	内装工事業	6月も前月と同じく、対前年同月比で減少となった。コロナの影響が大きく、このまま減少傾向は続くと思われる。
	水道工事業 (亀山)	先月と同様で材料の納期は変わらないが、建設資材、特に木材、鉄鋼及びボルトが入手困難となっている。今後、施工の工程に不安を感じている。
運輸業	トラック	燃料価格は先月に引き続き上昇している。電子部品、デバイス関連の輸送が伸びている反面、化学、プラスチック関連の輸送は減少となった。自動車関連の輸送は長引く半導体不足から依然として低迷している。スーパー関連の輸送については先月減少となっていたが、今月は増加に転じた。

## 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	HACCPの助成金等があれば、教えてほしい。
一般機器	四日市	政府は、中小企業対策に注力するといっているが、具体策が見えてこない。
小売業	スポーツ	オリンピック、国体が終わると組合としての大きな特需がなくなるので、何を目標にするかを考えている。何か目標とするものはないか。
サービス業	旅館	「ワクチン職域接種」の呼びかけがあり、急遽、打ち手、会場等を段取りして申請したが、回答は1000人以上の単位が参加の条件とのことであった。これでは「中小企業」、「地域組合」等は参加できない。この不条理さは中央会として声をあげてもらいたい。
	測量	組合員、各位の緩やかな成長を望む。